

報道関係各位

令和6年 4月22日
佐倉市 教育委員会 社会教育課

津田梅子の父の名前がついた「津田仙メニュー」給食

佐倉市の全小中学校で実施！

(最もPRしたいこと)

新五千円札の新たな顔となる津田梅子。日本初の女性留学生として、6歳で梅子をアメリカに送り出したのは、佐倉藩出身の父・津田仙でした。江戸幕府の使節団の通訳でアメリカに渡った津田仙は、帰国後に西洋野菜の栽培に着手し、西洋野菜の普及の第一人者となりました。

佐倉市にゆかりのある津田仙の功績をたたえようと、命日の4月24日前後に、佐倉市内の全小中学校（34校）では、自校式給食の特色を生かし各校独自の「津田仙メニュー」給食を実施しており、西洋野菜を使ったメニューが登場します。

(趣旨)

佐倉市のすべての小中学校には給食用調理室が整備されており、栄養士が常勤し「自校式給食」が行われています。献立づくり、食材の仕入れ、調理がすべて各校に任されているため、学校行事や食育の授業内容に合わせた献立、地元野菜を使ったおかずを提供しており、おいしいご飯は、子どもたちに好評です。

そんな佐倉市ならではの給食として約15年前から行っているのが、津田仙の功績をたたえる給食の提供です。佐倉市では、佐倉ゆかりの歴史的人物等を学ぶ「佐倉学」を推奨しており、西洋野菜を日本に広めた津田仙、次女・津田梅子についても学んでいます。

今年度は、昨年の佐倉学子供作品展において、市長賞を受賞した佐倉市立根郷小学校（現在6年生）児童が考案した津田仙メニューが給食のメニューとして登場します。

なお、全小中学校の給食メニューは、津田仙や津田梅子の紹介とあわせて、夢咲くら館で展示予定です。（6月5日～6月30日を予定）

(概要)

日時：令和6年4月24日（水）午前11時50分頃集合

場所：佐倉市立根郷小学校（駐車場有）

内容：根郷小学校給食の時間にメニューの写真及び食べている風景の撮影、メニューを考案した児童、校長先生、市長のインタビューが可能です。

その他：撮影不可の児童もおりますので、記事となる場合に、写真及び内容について、確認、相談させていただく場合もあります。

【本件へのお問い合わせ】 ※取材を希望される場合は、4月23日（火）までにご一報ください。

佐倉市役所 教育委員会 社会教育課（担当：舎人）

TEL：043-484-6189／FAX：043-486-9401／E-mail：shakaikyoiku@city.sakura.lg.jp

この情報提供は、各社にファクス送信しました。[送付枚数 1 枚（本票含む）]

【送信元】佐倉市役所 企画政策部 広報課 TEL：043-484-6206／FAX：043-486-8720